

硬筆アート展総評

島根県民文化祭の特別参加展として「硬筆アート展」を設けて、硬筆と書のアートの向上に努めています。

毛筆を除く各種の筆具（つけペン・ボールペン・フェルトペンなど）で文字を表現した「筆具部門」と毛筆・筆具以外のもので文字を表現した「創作部門」があります。

今年度は出品数が例年に比べ少なくなりましたが、十七歳の高校生から九十歳までの幅広い年齢層の作品が集まりました。

手書きの文字の美しさ・温かさ、いろいろなもので文字を表現する楽しさ・面白さを、毎年感じさせてもらっています。

今年も、すばらしい作品ばかりで、審査は大変でしたが、県の賞七点・硬筆アート会の奨励賞五点を選びました。

楽しみながら観ていただき、来年もまた、そして新しい人にも出品していただきたいと思います。

皆さんに心より感謝申し上げます。

文責 森脇東雲

知事賞 「海士町の挑戦実を結ぶ」

中野 勝枝（海士町）

白い地模様のマットに、黒い紙、その上に金の文字と紅色の扇、海士の山並みの向こうの海に沈む夕日。

とても印象深い作品です。

テレビの海士町の町長さんの挑戦をとり上げた番組を観て、自分の住む町への思いを募らせて書きあげた作品だそうです。

今回出品者の最年長である九十歳という年齢と、闘病中ということを感じさせない明るくて力強いすてきな作品に仕上がりました。

文責 伊藤紅水

金賞 「草木塔・茶の花」

郷原 華梢（出雲市）

作者は、前回までボールペンを使用されていましたが、今回筆具をデスクペンに替えて爽やかな仕上げとなりました。

多字数を終始一貫乱れることなく、漢字とかなの調和良く、観る人を和ませる作品でした。今後に期待がもてる作品となりました。

金賞おめでとうございます。

文責 伊藤松溪

銀賞 「気はながく」

島田 洋三（江津市）

焼ペンと色エンピツを使用され、丁寧な、字粒の大小取りまぜて、色も多彩に根気よく仕上げてありました。

中央に多字数を書かれ、まわりに大きな字を配して目を引く作品となりました。

読んでいると、胸に響く言葉ばかりで、ぜひともこの様に過ごせたらと思います。

銀賞おめでとうございます。

文責 伊藤松溪

銀賞 「禅」

松尾 純也（出雲市）

金色の絵の具に金箔の線入りのバックの地にまず驚きました。その上にダンボールで「禅」の字を切り抜いた赤い文字がとても目を引き斬新な作品となりました。

四隅の「温故知新」の行書の文字も地味ながら全体を引き締めています。

今後益々の精進を願っております。

文責 石原翠絹

銅賞 「護国―戦後80年を迎えて想うこと―」

佐々木 雅子（江津市）

全体に色合いは地味だけど、すごく上品な作品だと思います。

まず繊細な線の中に力強い龍と雲の図にすっかり見入りました。その上にのせた篆書の「護国」の字がとてもマッチしています。

戦後八十年を迎えた節目の年に、この平和がずっと続く事を祈りたいものです。

文責 石原翠絹

銅賞 「今日もチートDay」

宮里 莉央（浜田市）

ピンクのトートバッグに、同系色のラメ入りのアイロンシートを文字の形に切って、アイロンで転写させた作品です。

今日「も」チートDay

ダイエットをがんばっている自分に、今日くらいは好きな物を食べてもいいかな

でも、今日「も」!!

十七歳の若さの食欲には勝てませんか！

若いセンスで、単調な線になることなく、上手にもしろい味のある文字になっています。

文責 伊藤紅水

銅賞 「ほほえみ返し」

横山 富子（江津市）

銅賞おめでとうございます。

ウロコアートの工房は江津にあると聞いています。

毎年立派な作品を発表され細やかなところまで表現され、おどろきました。

繊細な文字とにこやかな表情の顔とのバランスが良く、あの表情をみただけで、福がまいこんでくることでしょう。

文責 日下溪扇